



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月10日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
コード番号 3593 URL <https://www.hogy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者
半期報告書提出予定日 2024年11月13日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 川久保 秀樹
(氏名) 藤田 泰介
TEL 03-6229-1300
配当支払開始予定日 2024年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	19,619	0.4	2,083	12.3	2,036	14.2	1,867	7.8
2024年3月期中間期	19,536	1.7	2,375	25.4	2,373	25.0	1,732	22.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,239百万円 (38.3%) 2024年3月期中間期 3,626百万円 (10.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	80.58	
2024年3月期中間期	71.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	99,492	75,799	76.2
2024年3月期	100,041	86,120	86.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 75,790百万円 2024年3月期 86,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	20.00	20.00	20.00	20.00	80.00
2025年3月期	20.00	20.00			
2025年3月期(予想)			20.00	20.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,850	4.5	4,690	12.5	4,800	13.1	3,310	18.0	153.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	22,535,463 株	2024年3月期	25,256,963 株
2025年3月期中間期	975,381 株	2024年3月期	982,821 株
2025年3月期中間期	23,175,606 株	2024年3月期中間期	24,261,879 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、国内需要がプラスに転じ、景気は緩やかに回復の兆しが見えています。しかしながら足元では、物価高への懸念、南海トラフ地震への警戒感、大雨による水害など天候不順による不安も含め、先行き不透明な状況が継続しております。また為替相場につきましては、7月上旬にかけ歴史的な円安水準にありましたが、日本の金融当局による円買いの為替介入や、日銀の追加利上げ観測の高まり、米国の利下げ見通しなどを受けて、ドル安・円高方向の動きとなりました。

医療業界におきましては、引き続き資源価格、電力などのエネルギーコスト、輸送・運搬コストなどの価格高騰が続いております。同時に6月に実施された診療報酬改定による初診料引上げが行われたものの、医療従事者の賃上げ、人手不足による働き方改革への対応など、病院経営にとっては変動が大きくかつ対応が急がれる状況が継続しております。

このような環境下、当社グループにおきましては、当中間連結会計期間において医療安全とお客様の業務効率化、働き方改革を支援する製品の提案を積極的に展開したことなどにより売上高が堅調に推移いたしました。特に最重要戦略製品である「プレミアムキット（プリスターキットも含む）」は当中間連結会計期間におきましても売上が拡大しております。この「プレミアムキット」は、内容物の充実を図り、術前・術中・術後において発生するお客様の手間を削減し、効率化するとともに、手術における医療安全が確保できる高付加価値製品であり、発売以降お客様に高いご評価をいただき、売上を伸ばしている当社の主力製品です。一方、不織布製品は2023年3月期に実施した一部製品の価格改定の影響により、医療用ガウン製品の販売数量減少が継続したことなどから売上高が減少し、また高機能マスクなど感染防止関連製品の特需が落ち着いたため、その他不織布製品の売上高も減少いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は19,619百万円（前期比0.4%増）となりました。キット製品の売上高は12,992百万円（同2.3%増）、「プレミアムキット（プリスターキットも含む）」の売上高は8,507百万円（同6.6%増）となりました。その内、「プレミアムキット」のみの売上高は6,510百万円（前期比23.2%増）となりました。

売上原価は、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の減価償却費が減少したものの、円安による輸入材料の高騰の影響、長期滞留品などの棚卸資産評価損が影響を及ぼし、原価率は3.1%上昇し、67.5%となりました。販売費及び一般管理費は、全体的に効率的な経費の使用に努めたことから前期比で減少いたしました。

この結果、営業利益は2,083百万円（同12.3%減）で営業利益率は10.6%となりました。経常利益は賃貸事業に関連する債権に対する貸倒引当金繰入額が発生したことなどにより、2,036百万円（同14.2%減）となりました。また、保有資産の効率化を図るため、保有株式の一部を売却し、特別利益が1,097百万円発生した一方、賃貸事業に関連する固定資産の減損が発生したことにより、特別損失が532百万円発生いたしました。以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は1,867百万円（同7.8%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ549百万円減少し、99,492百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金3,244百万円の増加、売上債権730百万円の減少、棚卸資産522百万円の増加、未収消費税等の減少675百万円等により2,306百万円増加し45,332百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却及び減損損失等による696百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による1,761百万円の減少、P. T. ホギインドネシア工場増築等による建設仮勘定の1,311百万円の増加等により、1,061百万円減少し44,651百万円となりました。無形固定資産は、減価償却による71百万円の減少により423百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の一部売却及び時価評価等による投資有価証券1,270百万円の減少等により、1,723百万円減少し9,084百万円となりました。この結果、固定資産は54,159百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,771百万円増加し、23,692百万円となりました。流動負債は、未払法人税等633百万円の増加、未払消費税等543百万円の増加等により、1,063百万円増加し9,304百万円となりました。固定負債は、長期借入金の借入による10,000百万円の増加及び返済による999百万円の減少、所有する株式の一部売却及び時価評価等による繰延税金負債376百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて8,707百万円増加し14,387百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益1,867百万円の計上による増加、剰余金の配当による970百万円の減少、所有する株式の一部売却及び時価評価等によるその他有価証券評価差額金830百万円の減少、為替換算調整勘定1,258百万円の増加がありました。また、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,721,500株の取得及び消却を実施し、利益剰余金が10,899百万円減少しました。これらの結果、前連結会計年度末に比べて10,320百万円減少し75,799百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.1%から76.2%へ減少いたしました。

（キャッシュ・フローについて）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,206百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益を2,601百万円、減価償却費を2,831百万円、投資有価証券売却益を1,097百万円、減損損失を529百万円計上し、売上債権の減少867百万円、仕入債務の減少428百万円、未収消費税等の減少675百万円等がありました。これらの結果、6,373百万円の収入（前年同期は2,009百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,396百万円、投資有価証券の売却による収入1,114百万円等がありました。これらの結果、218百万円の支出（前年同期は1,873百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入10,000百万円、長期借入金の返済による支出999百万円、自己株式の取得による支出11,622百万円、配当金の支払970百万円がありました。これらの結果、3,592百万円の支出（前年同期は1,921百万円の支出）となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約9,800百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、投資有価証券の売却等により約4,160百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入及び返済、自己株式の取得、配当金の支払い等により約5,600百万円の支出を見込んでおります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は回復基調ではあるものの、引き続き不安定な世界情勢、資源・原材料価格の高止まりにより見通しが難しい状況が続くと想定しております。

また、医療業界におきましては、患者数がコロナ禍以前に近づきつつあるものの完全には回復せず、医業収益が確保しづらくなっている一方、労務費やその他の経費が上昇し、厳しい経営状況となっております。そのような中、政府では新たな地域医療構想ビジョンが検討されるなど、病床機能の役割見直しさがさらに加速されること、大学病院の医師の引き上げなどが行われていることなどもあり、今後も人手不足対策や医療従事者の待遇改善の必要性に迫られる厳しい経営状況が続くと想定しております。

こうした状況下、当社は、お客様が抱える課題の解決に貢献するための提案活動を積極的に行い、最重要戦略製品である「プレミアムキット」の積極的な販促活動を通じて、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されているお客様の業務負担を徹底的に削減してまいります。特に深刻化する医療現場での人手不足や生産性低下、働き方改革をはじめとする経営課題に対してお客様に寄り添いながら取り組んでまいります。

海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィック P T E . L T D . 及びインドネシアにある販売孫会社の P . T . ホギメディカルセールスインドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心に ASEAN（東南アジア諸国連合）各国の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価におきましては、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の投資に伴う償却費が減少することなどにより、下期では原価率の改善を見込んでおります。引き続きコスト削減や生産性の改善など原価低減のための企業努力を継続しつつ、製造子会社である P . T . ホギインドネシアにおいても、生産性の改善に取り組み原価低減を目指してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は、期初の計画通り以下のとおりであります。

（連結業績予想）

売 上 高	40,850百万円	（前期比 4.5%増）
営 業 利 益	4,690百万円	（前期比 12.5%増）
経 常 利 益	4,800百万円	（前期比 13.1%増）
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,310百万円	（前期比 18.0%増）

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,419	22,664
受取手形及び売掛金	8,459	7,690
電子記録債権	4,307	4,346
商品及び製品	4,502	4,825
仕掛品	390	379
原材料及び貯蔵品	4,563	4,775
その他	1,382	651
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,025	45,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,534	18,837
機械装置及び運搬具(純額)	14,726	12,964
土地	9,728	9,804
建設仮勘定	1,241	2,552
その他(純額)	481	491
有形固定資産合計	45,712	44,651
無形固定資産	495	423
投資その他の資産		
投資有価証券	9,213	7,943
その他	1,602	1,314
貸倒引当金	△8	△172
投資その他の資産合計	10,807	9,084
固定資産合計	57,015	54,159
資産合計	100,041	99,492
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,834	4,542
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	102	736
引当金	534	556
その他	770	1,470
流動負債合計	8,241	9,304
固定負債		
長期借入金	3,669	12,669
退職給付に係る負債	509	536
引当金	—	54
その他	1,501	1,127
固定負債合計	5,680	14,387
負債合計	13,921	23,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,294	8,296
利益剰余金	67,762	57,759
自己株式	△3,217	△3,908
株主資本合計	79,962	69,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,418	2,588
繰延ヘッジ損益	—	△50
為替換算調整勘定	2,831	4,089
退職給付に係る調整累計額	△101	△107
その他の包括利益累計額合計	6,148	6,520
非支配株主持分	8	8
純資産合計	86,120	75,799
負債純資産合計	100,041	99,492

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	19,536	19,619
売上原価	12,597	13,260
売上総利益	6,938	6,358
販売費及び一般管理費	4,563	4,275
営業利益	2,375	2,083
営業外収益		
受取利息	118	123
受取配当金	36	49
為替差益	—	87
受取賃貸料	35	56
その他	48	45
営業外収益合計	239	363
営業外費用		
支払利息	12	23
為替差損	45	—
貸倒引当金繰入額	—	161
投資事業組合運用損	135	52
自己株式取得費用	—	46
賃貸収入原価	39	58
貸借契約損失引当金繰入額	—	68
その他	8	0
営業外費用合計	241	410
経常利益	2,373	2,036
特別利益		
固定資産売却益	40	—
投資有価証券売却益	—	1,097
特別利益合計	40	1,097
特別損失		
固定資産廃棄損	0	3
減損損失	—	529
特別損失合計	0	532
税金等調整前中間純利益	2,413	2,601
法人税等	689	733
中間純利益	1,724	1,867
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△8	0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,732	1,867

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,724	1,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	851	△830
繰延ヘッジ損益	△91	△50
為替換算調整勘定	1,123	1,258
退職給付に係る調整額	19	△6
その他の包括利益合計	1,902	371
中間包括利益	3,626	2,239
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,624	2,238
非支配株主に係る中間包括利益	2	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,413	2,601
減価償却費	3,295	2,831
受取利息及び受取配当金	△155	△173
支払利息	12	23
投資事業組合運用損益 (△は益)	135	52
為替差損益 (△は益)	17	△25
有形固定資産売却損益 (△は益)	△40	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,097
減損損失	—	529
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,096	867
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△797	△168
仕入債務の増減額 (△は減少)	△389	△428
その他	△316	1,373
小計	3,079	6,384
利息及び配当金の受取額	149	189
利息の支払額	△12	△23
法人税等の支払額	△1,206	△177
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,009	6,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,612	△1,396
有形固定資産の売却による収入	43	—
無形固定資産の取得による支出	△65	△34
投資有価証券の売却による収入	—	1,114
その他	△239	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,873	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△999	△999
自己株式の取得による支出	—	△11,622
配当金の支払額	△921	△970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	△3,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	468	644
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,316	3,206
現金及び現金同等物の期首残高	18,351	18,623
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,034	21,830

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式2,721,500株の取得及び消却を実施いたしました。これらの結果、自己株式の取得により、自己株式が11,620百万円増加、自己株式の消却により、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ10,899百万円減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が57,759百万円、自己株式が3,908百万円となっております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。